大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

2013年2月6日

プレスリリース

大阪科学・大学記者クラブ　各位
（同時資料提供先：大阪市政記者クラブ）

公立大学法人大阪市立大学

大阪市立大学地域連携センター開設記念「地域防災フォーラム　いのちを守る都市づくり」を開催します

大阪市立大学は、大学の教育・研究活動等を通じた「資源」と「都市課題・地域ニーズ」のマッチングを組織的に推進するため、平成25年2月、地域連携センター(Collaboration and Contribution Center for Community) を開設しました。

この地域連携センター開設を記念して、本学都市防災研究グループと連携し、平成２５年３月１６日(土)に「地域防災フォーラム　いのちを守る都市づくり」を下記のとおり開催します。地域防災劇や体験型ワークショップを交え、子どもから高齢者の方まで幅広い世代にわかりやすく伝えることで「いのちを守る力」の育成の場となることを願い、皆様のご参加をお待ちしています。

記

大阪市立大学地域連携センター開設記念「地域防災フォーラム　いのちを守る都市づくり」

1. 日 時　　平成２５年3月１６日（土）１１時～１７時
2. 場 所　　大阪市立大学　学術情報総合センター１０階　大会議室
3. プログラム

【展示】１１時～１７時
コミュニティ防災の取組みを紹介します

【シンポジウム】１３時～１７時
進　行：森一彦（生活科学研究科教授／都市防災研究グループ代表）
挨　拶：西澤良記（大阪市立大学長）

＜第1部＞ １３時～１４時　地域防災劇「いのちを守るまち（仮題）」
住吉区在住、小学生から大人まで幅広い世代による劇団です

＜第2部＞ １４時～１５時　ワークショップ「いのちを守るしくみ体験」
[シールラリー開催]ブースを巡って体験しながら、シールを集めよう！
参加者には市大グッズプレゼント

＜第3部＞ １５時～１７時　対談「コミュニティと防災」

【懇親会】１７時～１９時
場所　学術情報総合センター１０階　研究者交流室
会費　５００円（懇親会参加者のみ）

4. 参加費　　無料（定員２００名、懇親会参加者は別途会費５００円が必要です）
5. 申込方法　ハガキ、FAX、大学ホームページからお申し込みください。
   ・本学HP　http://www.osaka-cu.ac.jp/　（専用フォームからお申し込みください）
   ・往復ハガキ又はFAX　下記必要事項を記入のうえ、下記宛先・問い合わせ先までお送りください（※返信用ハガキには、申込者の住所をご記入）。
   ①住所（郵便番号）　②代表者氏名　③お申し込み人数　④電話番号　⑤年齢
   ⑥このフォーラムをどこで知ったか　⑦懇親会参加有無
   ※同時に複数名のお申し込み可能です。
   お申し込み受理後、参加証をお送りいたします。
6. 宛先・お問い合わせ　〒558-8585　大阪市住吉区杉本3-3-138
   大阪市立大学　学務企画課　地域連携センター　担当：山尾
   TEL：06-6605-3504　　FAX：06-6605-3505

以　上

【本件に関する問合せ先】
大阪市立大学 学務企画課 地域連携センター　担当：山尾
TEL：06-6605-3504　　FAX：06-6605-3505
地域連携センターHP　https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/4c/

大阪市立大学地域連携センター 開設記念

地域防災フォーラム

いのちを守る都市づくり

大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

ODRP
大阪市立大学 都市防災研究プロジェクト
Osaka City University - Disaster Reducation Research Project

大阪市立大学 地域連携センター
Collaboration and Contribution Center for Community

2012年度 都市防災研究報告会

日時 平成25年 3月16日(土) 11時～17時

場所 大阪市立大学 学術情報総合センター10階 大会議室

主旨

「いのちを守る都市づくり」とは、東日本大震災をうけ、大阪市立大学が地域住民・行政と連携し、専門分野横断組織で取り組む都市防災研究活動です。この活動は、単に都市における建物やライフラインなどの防災力を見直すことではなく、そこにいる「人の力」そこで営まれる「コミュニティの力」を高めて、「いのちを守る力」を育成します。このフォーラムは、本学と地域の窓口となる「地域連携センター（H25.2開設）」を記念して、「防災劇」「体験型ワークショップ」「対談：コミュニティと防災」の3部構成で行います。地域防災を子どもから高齢者の方々まで幅広い世代にわかりやすく伝え、ともに考える場となることを切に願い、皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム　詳細は裏面をご参照ください

第1部 13時～14時

地域防災劇「いのちを守るまち（仮題）」

住吉区在住、小学生から大人まで幅広い世代による劇団です

第2部 14時～15時／ワークショップ「いのちを守るしくみ体験」

「シールラリー開催」ブースを巡って体験しながら、シールを集めよう! プレゼントあり

第3部 15時～17時／対談「コミュニティと防災」

参加費無料（先着200名）

申し込み方法／大学ホームページから。ハガキ・FAX可

本学HP http://www.osaka-cu.ac.jp/

往復ハガキ又はFAX 下記必要事項を記入のうえ下記までお送りください（※返信用ハガキには、申込者の住所を記入）。
①住所（郵便番号）②代表者氏名 ③申し込み人数 ④電話番号⑤年齢 ⑥このフォーラムをどこで知ったか
⑦懇親会参加有無　※同時に複数名のお申込み可能です。

宛先・お問い合わせ 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学 学務企画課 地域連携センター
TEL.06-6605-3504／FAX.06-6605-3505

お申込受理後、「参加証」を送付いたします。

大阪市立大学地域連携センター 開設記念　地域防災フォーラム「いのちを守る都市づくり」

2012年度 都市防災研究報告会

プログラム

展　示　11時～17時　コミュニティ防災の取り組みを紹介します

シンポジウム　13時～17時

進　　行：森一彦（生活科学研究科教授／都市防災研究グループ代表）
あいさつ：西澤良記（大阪市立大学長）

第1部　13時～14時

地域防災劇「いのちを守るまち（仮題）」

住吉区在住、小学生から大人まで幅広い世代による劇団です
OCU劇団 スミヨシ・アクト・カンパニー／演出 福島祥行（文学研究科教授）

演劇の猛練習中

第2部　14時～15時

ワークショップ「いのちを守るしくみ体験」

1. 地域リスクの見える化：木村義成（文学研究科講師）
   地域に潜むリスクをデジタルマップで体感しましょう。
2. iPadで地域防災を学ぶ
   iPadを使って、楽しみながら地域防災を学びます。
3. 災害時の医療：山本啓雅（医学研究科准教授）
   災害時の医療のしくみと活動の内容を知ろう。
4. 災害時のセルフケア：石井京子（看護学研究科教授）他
   災害時に自分の命と健康を守るセルフケアについて考える。
5. 災害弱者支援体験：岩間伸之（生活科学研究科教授）、山田尚宏（住吉区社会福祉協議会）
   車いす体験を通して、災害弱者支援の実際を学びます。
6. 避難体力を考える：渡辺一志（都市健康・スポーツ研究センター教授）
   いのちを守る避難行動に必要な体力について考えます。
7. 福祉避難所：生田英輔（生活科学研究科 助教）
   災害時要援護者のための福祉避難所について考えます。
8. 災害時に備える食料：由田克士（生活科学研究科教授）
   何をどれだけ備えておけば安心なのかを考えます。
9. 人間を守るコミュニティ防災：全 泓奎（都市研究プラザ准教授）
   全ての人を災害から守るコミュニティ防災を探る。
10. 祭りと防災：中川眞（文学研究科教授）
    祭りは人々を繋げる。防災に必要な繋がりを考えます。

シールラリー開催

1～10のブースを巡って体験しながら、シールを集めよう!

参加者には
市大グッズプレゼント!

部会報告
コミュニティ再生部会：加藤司（経営学研究科教授）／広域複合災害部会：重松孝昌（工学研究科教授）／地域展開部会：三田村宗樹（理学研究科教授）

第3部　15時～17時

対談「コミュニティと防災」

宮野 道雄（大阪市立大学 副学長／地域連携センター所長）
吉田 康人（大阪市住吉区長）
森本　　優（山之内スマイル協議会／区政会議防災部会）
木村 泰子（大阪市立南住吉大空小学校長）
荒谷 航平（大阪市立大学学生／大阪市立大学環境保護・国際協力サークルCHOVORA!代表）

報告「いのちを守る力ドリル」 志垣 智子（大阪市立大学大学院生活科学研究科研究生）

懇親会　17時～19時

場所：学術情報総合センター10階 研究者交流室
会費：500円（懇親会参加者のみ）

[アクセスマップ]

平成25年2月 大阪市立大学 地域連携センター開設!

都市大阪のシンクタンクを目指して、都市課題・地域ニーズに応える拠点
地域連携センターホームページ
https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/4c/